

精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療費(精神通院医療)についてのご案内

●精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療費(精神通院医療)受給者証に「有効期間終了日の3か月前から更新申請できます」という注意書きを記載しています。有効期限に注意して、早めの更新申請をお願いします。



●精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療費(精神通院医療)の制度の概要、申請手続き等について解説したパンフレットを作成しています。各保健センター窓口、こころの健康センター窓口にあります。



岡山市自殺予防情報センターを開設します 平成27年度中

全国的には平成10年から3万人を超える方々が自殺によって亡くなっていました。国を挙げて様々な取り組みを実施した結果、平成24年から2年連続で自殺者数は減少傾向にあるといわれています。

しかし、依然として年間2万5千人を超える方々が自殺によってお亡くなりになっている現状があります。

岡山市こころの健康センターでは「死にたいほどつらい気持ち」を抱えるご本人とご家族からの相談に応じたり、関係機関との連携強化や支援者の人材育成を図るため、平成27年度中に「岡山市自殺予防情報センター」を開設します。

開設の詳細につきましては、またご案内させていただきます。



わかちあいの会のご案内

大切な人を自死(自殺)で亡くしたとき、その悲しみは一人では抱えきれないものです。

また、自死に対する偏見などから、ご遺族がづらい思いをすることも少なくありません。

この「自死遺族わかちあいの会」は、自死で突然家族を亡くしたご遺族が集い、安心して体験を語り、他の人の話を聴くことを通じて、互いにわかちあい、支えあう場です。

会には専門職が同席しますので安心してご参加ください。

毎月第2火曜日 13:30~15:30

岡山市保健福祉会館 4階ほのぼのルーム

※変更となる場合もございます。ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

参加ご希望の方は

こころの相談電話(086-803-1274)までご連絡ください。

相談電話のご案内

【ご利用できる方】岡山市内在住の方

こころの
相談電話

相談・予約
専用電話

086-803-1274

ご利用時間 9:00~12:00/13:00~16:00 (土日祝日・年末年始を除く)

※来所相談は予約制です。まずは相談・予約専用電話にご連絡ください。

岡山市ひきこもり地域支援センター(岡山市こころの健康センター内)に設置しています。

【ご利用できる方】岡山市内在住のひきこもり状態にある本人やその家族等

ひきこもり
に関する
相談電話

相談・予約
専用電話

086-803-1326

ご利用日時 毎週水曜日、金曜日 9:30~12:00/13:00~15:00 (祝日・年末年始を除く)

※来所相談は予約制です。まずは相談・予約専用電話にご連絡ください。

岡山市こころの健康センターだより



岡山市こころの健康センター

〒700-8546 岡山市北区鹿田町一丁目1番1号 岡山市保健福祉会館4階

Tel.086-803-1273 Fax.086-803-1772

ホームページ <http://www.city.okayama.jp/hofuku/kokoroc/>

岡山市こころの健康センターの「退院支援」

所長 太田 順一郎



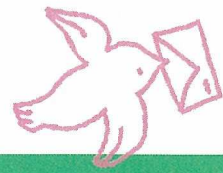
現在わが国には約34万床の精神科病床が存在し、30万人以上の精神科入院患者が存在します。病床数にしても、入院患者数にしても、国際比較というのはなんらかの不備を含むものですが、国際的に見てわが国の精神科病床数が多いこと、また長期在院患者が多いことについては、やはり異論のないところでしょう。厚生労働省は、平成16年9月に「精神保健医療福祉の改革ビジョン」を示して以降、「入院医療中心から地域生活中心へ」という基本的な姿勢を明確にして、その方策を推し進めようとしてきましたが、いまだに病床の減少という結果を出すに至っていません。

そのような中で、岡山市こころの健康センターでは平成21年の開設以降現在まで、一貫して精神障害者の地域移行支援および地域定着支援に取り組んできました。地域移行支援というのは長期入院患者さんの退院を支援する仕事です。地域定着支援というのは、退院した患者さんが、ちゃんと地域で暮らし続けるように支援する仕事です。最近の精神科への入院期間はどんどん短くなっていて、例えば新しく入院した患者さんのうち9割は、特別の支援がなくても1年以内にちゃんと退院して

いきます。一方で精神科病院には入院が10年、20年にも及ぶ長期の入院患者さんがたくさんおられるのも現実です。そのような長期入院の患者さんの中には、病状はすでに落ち着いているのに、退院のタイミングを失ってしまい、そのまま退院することができないでいる人たちもおられます。中には退院したい、という意欲自体を無くしてしまっている入院患者さんもおられます。入院が10年、20年となれば、それもやむを得ないことだと思います。

今回の「こころの健康センターだより」では、そういった精神科病院に長期入院している患者さんたちへの、当センターの退院支援の取り組みを主に取り上げています。当センターの「地域コーディネーター」を中心とした、退院意欲を失っている患者さんに意欲を取り戻して貰い、一緒に外出するところから始めて、一緒に住居を探し、退院後の暮らし方を考えて準備し、という仕事の具体的なイメージの一端でもお伝えできれば、と願っています。





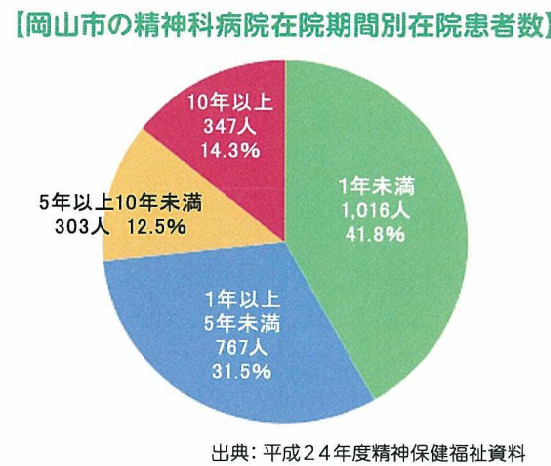
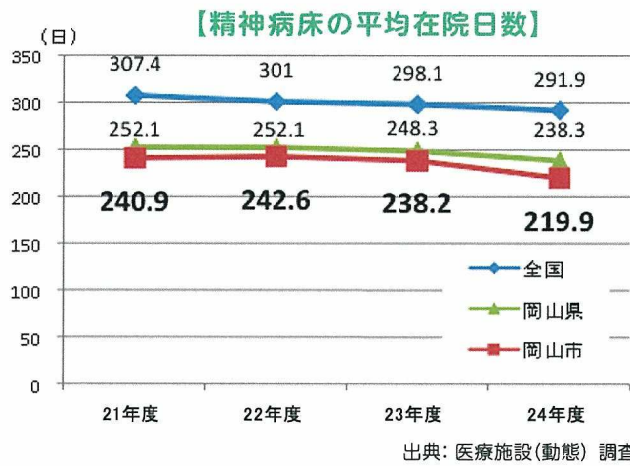
長期入院精神障害者の退院支援を進めています!!



岡山市の入院精神障害者の状況

岡山市こころの健康センターでは、市内の精神科病院と協働し、長期入院精神障害者の退院支援に取り組んでいます。岡山市には精神科病院が8病院あり、精神病床数は平成26年度末で2,796床となっています。岡山市における精神病床の平均在院日数は少しずつ減少傾向にあります。平成24年度では1年以上入院されている方が約6割を占めており、長期入院精神障害者の中には何らかの理由で退院できない方がまだまだおられます。

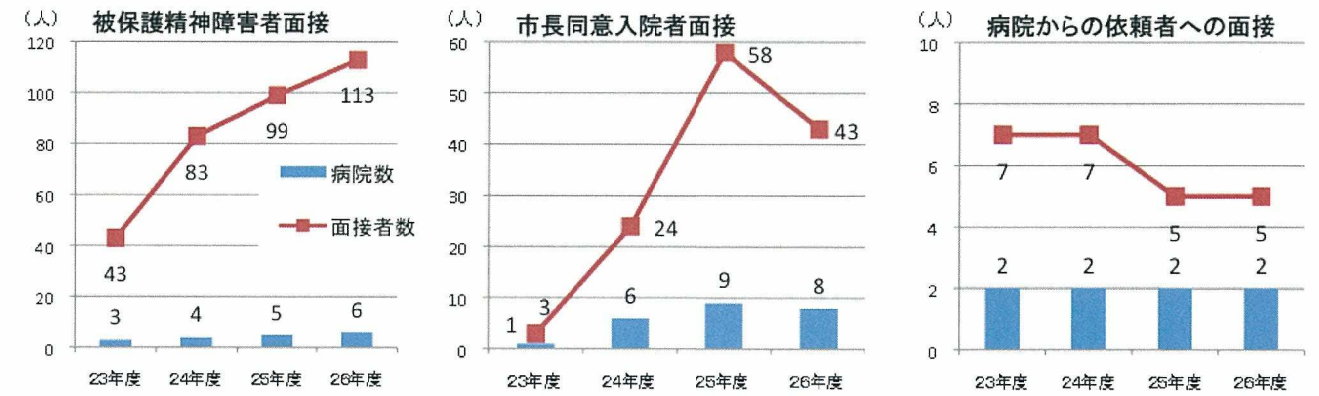
そこで、当センターでは、地域コーディネーターが精神科病院に出向き、長期入院精神障害者が安心して地域で生活できる環境づくりを目指して、入院中からの支援と退院後の支援を行っています。



また、当センターでは、長期入院精神障害者の中で退院支援を必要とする対象者を把握するため、被保

護精神障害者や市長同意入院者、病院からの依頼者に対して面接を実施しています。

【面接を実施した病院数と面接者数】



退院者の状況

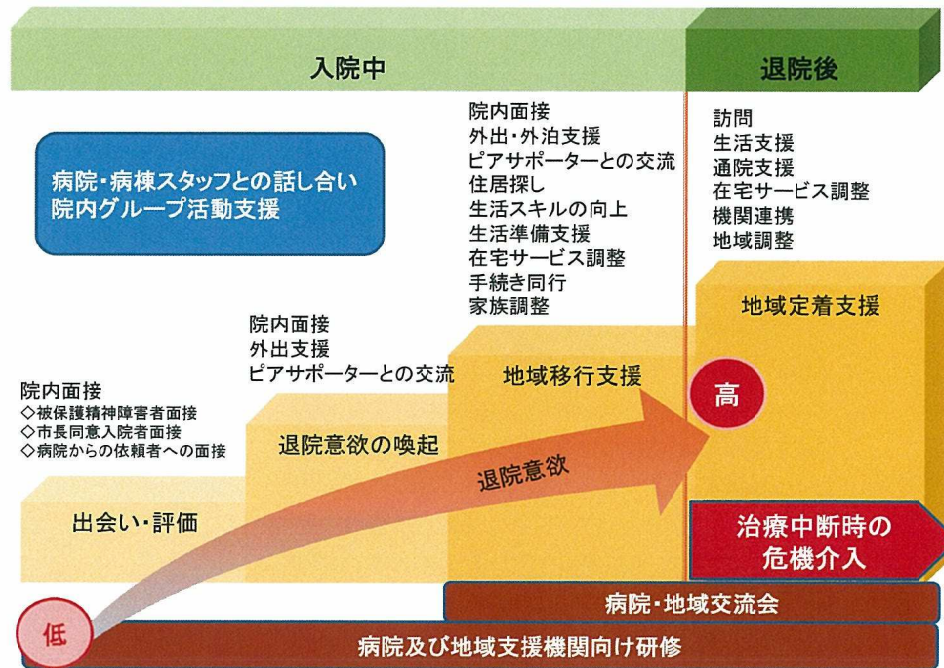
平成22年度から平成26年度の5年間で退院した長期入院精神障害者は23人です。退院先はアパートや自宅、宿泊型自立支援施設などで、アパートを借りて一人暮らしを始めた方が半数以上を占めていました。退院した方23人の入院期間をみると、1年以上3年未満の方が10人で、10年以上

入院していた方は5人いました。退院した方たちは、ホームヘルプサービスなどの社会資源を利用したり、地域活動支援センターや就労支援のための事業所などに通ったりしながら、地域での生活を継続されています。

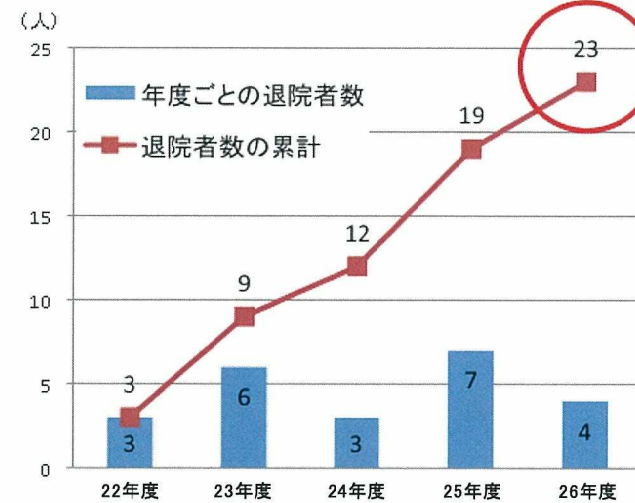
精神科病院入院中からの退院支援

長期入院精神障害者の中には、地域での生活がイメージできなかったり、地域生活に不安を感じていたりするために退院意欲が低下している方もいます。そのように退院意欲が低下した方に対して、地域コーディネーターが入院中から院内面接や外出支援を行うことで、退院意欲の向上を図っています。退院意欲が高まると、本人のペースに合わせて生活スキルの向上のための練習を行ったり、住居探しや在宅サービスの手続きなどの生活環境の調整を行っています。退院後は地域定着を図るため、事業所と協力して、訪問による生活支援や通院支援なども行っています。

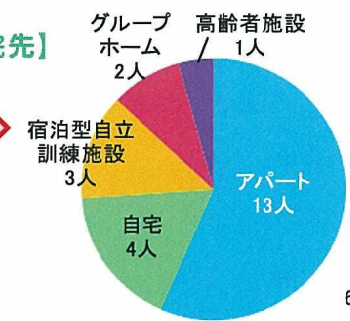
【退院支援の諸段階と支援メニュー】



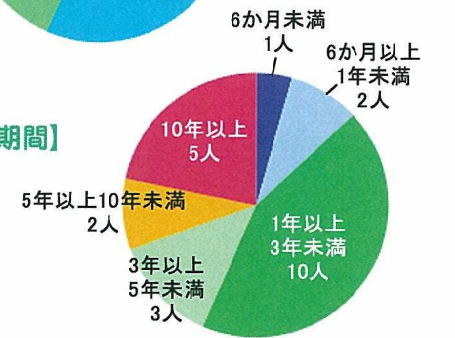
【退院者数】



【退院先】



【退院者の入院期間】



今後に向けて

当センターでは、今後も市内の精神科病院や事業所と協力して、長期入院精神障害者の退院支援を進めていきたいと考えています。併せて、平成27年度は退院後の地域での生活を支えていくために、

障害福祉サービスや介護サービスの事業所の支援者に向けた研修会も計画しております。今後、ご案内をいたしますのでどうぞご参加ください。